SHIRAYURI YOCHIEN

げんき

27号
10月29日

秋も深まり、街路樹の葉も色づき始めた札幌… 朝晩の冷え込みも一段と厳しくなり、いよいよ冬の足音が聞こえてくる季節となりました。
そんな中、今年もフワフワと空を舞う「雪虫」の姿が見られるようになりました。園長が幼かった頃から「雪虫が飛び始めると、もうすぐ初雪が…」と言われてきたものです。科学的な根拠はさておき、雪虫の姿を見ると、つい空を見上げてしまうのは北海道育ちの習性でしょうか（笑） どうやら冬将軍も、すぐそこまでやってきているようです。

さて、この度は、個人懇談にお越しいただき、ありがとうございました。

懇談では、これまでの幼稚園生活を振り返りながら、お子さんの成長した姿や頑張っていること、そしてこれから育んでいきたい力について、保護者の皆さんとお話しする貴重な機会となりました。また、ご家庭でのお子さんの様子をお聞かせいただくことで、幼稚園では見せない一面や新たな成長を知ることができ、教師達にとっても、今後の保育を考える上で大変参考になりました。

子どもたちの成長は、決して幼稚園だけで育まれるものではありません。ご家庭での温かな関わりと、幼稚園での友達や教師との様々な経験の両方が重なり合うことで、子ども達は少しずつ、そして確実に成長していきます。

これからも「幼稚園と家庭は子育てのパートナー」という思いを大切にしながら、白ゆりっ子一人ひとりの更なる成長を、保護者の皆さんと一緒に見守り、支えていきたいと思います。

【冬期間のジャンバーの着用について】

そろそろご家庭でもストーブや暖房のスイッチを入れる季節になりましたね。幼稚園でも暖房を使用する時期を迎え、園舎内は室温２０℃を目安に調整し、子どもたちが快適に活動できる環境を整えています。
さて、冬期間のジャンバーの着用は、例年通り１２月からとさせていただきます。１１月中は、ジャンバーを着用したままの登園はできませんので、寒さが厳しい日にジャンバーを着用する場合は、登園時にバス停、または幼稚園玄関で脱がせていただき、お持ち帰りください。また、降園時に再度、バス停または幼稚園玄関までお持ちいただきますようお願いいたします。**ただし、幼稚園指定のフリースジャンバーはその限りではありません。１１月中もそのまま着用して登園していただいて構いません。**
登園時の冷え込みが厳しいと、ついつい厚着をさせたくなるのが親心（笑） でも、園舎内は子どもたちが元気いっぱいに活動するのに適した室温を保っています。必要以上の厚着は、活動中に汗をかき、その汗が冷えることで、かえって体調を崩す原因となることがあります。
寒さへの備えはもちろん大切ですが、子どもたちは大人たちが思っている以上によく体を動かします。ご家庭でも、登園時の寒さだけでなく、暖かな園舎内で過ごす時間を考え、動きやすく、暑さ寒さを調整しやすい服装を心がけてください。
子どもたちが寒さに負けず、元気いっぱいに幼稚園生活を楽しめるようご理解とご協力をお願いいたします。

小さな手紙に詰まった大きな気持ち

「今度、一緒に遊ぼうね！」「○○先生、逆立ち名人目指して頑張ります！たくさん応援してください」「ドッチボール大会、優勝目指して頑張ろう！」「この間は助けてくれてありがとう」「一緒に逆立ち名人目指して頑張ろうね！」「いつも一緒に遊んでくれてありがとう、大好きだよ！」
どれも、子どもたちが大好きな友達や先生に伝えたい、素直で温かな気持ちです。
そんな気持ちを手紙にして届けることができたら…「きっと、楽しいだろうなぁ～」と、教師たちのちょっとした遊び心から、１Ｆと２Ｆの廊下に、可愛らしい**“郵便ポスト”**が、その隣には自由に使える可愛い便箋も…（笑）

文字が書けるようになり、読めるようになると、子どもたちにとって新しい世界が広がりますね！ これまでは言葉で伝えていた気持ちを、今度は文字にして伝えることができる… 「ありがとう」「大好き」「頑張ろう」etc そんな思いを自分の手で書いて、大切な誰かに届ける！ なんだか素敵なことだと思いませんか？！

白ゆり幼稚園では、毎日の「成長を促す学びの時間」の中で、読み書きの活動に取り組んでいます。でも、私たちが目指しているのは、単に文字を上手に書けるようになることではありません。文字を覚えたことで「書いてみたい」と思う。読めるようになったことで「もっと読んでみたい」と思う。学んだことが、子ども自身の「やってみたい」という気持ちにつながることを大切にしています。
大好きな先生に手紙を書きたい。仲良しの友達に「ありがとう」を伝えたい。頑張っている友達を応援したい。そんな気持ちが生まれた時、子どもたちにとって文字を書くことは、単なる勉強ではなく、自分の思いを伝えるための楽しい手段へと変わっていくのです。

そして、この郵便ポストには、もう一つ楽しい仕掛けが… その名も、**「白ゆり郵便局・郵便配達アルバイト大募集！」**
ポストに投函された手紙を、宛先の先生や友達のところまで届けるお仕事です。ただし、誰でもすぐに郵便配達員になれるわけではありませんよ。アルバイトをするためには「履歴書」の提出が必要なんです！ 履歴書には、自分の名前とクラス、そしてお仕事に対する「やる気」を書いて先生に提出します。**幼稚園児にして、まさかの履歴書デビュー！**
もちろん、立派な職歴や資格なんて必要ありません。必要なのは「やってみたい！」という気持ちだけ…（笑）
そして、気になるアルバイトの報酬はというと、**何と、シール１枚！** 大人からすれば「たった１枚？」と思うかもしれませんが、子どもたちにとっては立派な報酬です。しかも、大好きな先生や友達に手紙を届けることができて、さらにシールまでもらえるのですから、こんなに魅力的なお仕事はありませんね（笑）

おかげさまで、白ゆり郵便局の郵便配達アルバイトは、子ども達に大人気のお仕事となっています。でも、私達がこの取り組みで大切にしたいのは、手紙を書くことだけでも、シールをもらうことだけでもありません。誰かのために自分から行動すること。任された仕事に責任を持つこと。そして、誰かに喜んでもらえる嬉しさを知ること。郵便配達という小さなお仕事の中にも、子ども達の成長につながる経験がたくさん詰まっています。そして何より、手紙を書いた子も、手紙を受け取った子も、届けた子も、みんながちょっぴり幸せな気持ちになれますよね（笑）

便利な時代になり、今ではスマートフォンを使えば、いつでも簡単にメッセージを届けることができます。でも、自分の手で一文字ずつ書いた手紙には、文字の上手、下手とは関係なく、書いた人の気持ちが込められています。ちょっぴり曲がった文字も、間違えて書き直した跡も、一生懸命に書いた証拠… そして、手紙を受け取った相手が喜んでくれたら、きっと「また書いてみよう！」という気持ちが生まれるはずです。
「文字が書けるようになったから、手紙を書いた」のではなく、「大好きな人に気持ちを伝えたいから、文字を書きたくなった」。そんな学びのきっかけを、これからも大切にしていきたいと思います。
今日も白ゆり郵便局には、子ども達の優しさや感謝、応援する気持ちが詰まった手紙が届いていることでしょう（笑）